

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 サッカーのしあいを よんで、帰り道のけんとの気持ちを1つえらびましょう。

サッカーのしあいに負けたけんとは、くやしくて下を向いた。しかし帰り道、コーチの「よくさいごまであきらめなかった」という言葉を思い出し、こぶしをにぎって「次は勝つ」と心に決めた。

- 1 くやしかったが、コーチの言葉で次は勝とうと決めた気持ち。
- 2 くやしかったが、なかまの言葉で次は勝とうと決めた気持ち。
- 3 くやしかったが、相手のプレーを思い出して次は勝とうと決めた気持ち。
- 4 くやしかったが、家族のはげましで次は勝とうと決めた気持ち。

2 のこりのドーナツを よんで、あやが大きいほうを弟にわたしたのはなぜですか。1つえらびましょう。

おやつのだーナツが一つだけのこっていた。あやは弟と分けようと半分にわったが、大きさがそろわなかった。小さいほうの切り口からは、中のチョコがたっぷり見えている。あやはそれを見てにんまりし、大きいほうを弟にわたした。

- 1 弟に、大きいほうを食べさせてあげたかったから。
- 2 タごはんの前なので、食べすぎないようにしたから。
- 3 小さいほうに、チョコがたくさん入っていたから。
- 4 弟が、大きいほうがほしいと言ってきたから。

3 家に来た子ねこを よんで、ソファの下をのぞきこんでいたときのそうまの様子を1つえらびましょう。

家に子ねこが来た日、そうまはずっとだっこしていたかった。でも子ねこはソファの下にもぐりこんで出てこない。そうまはゆかにほおをくっつけて、下をのぞきこんだ。暗い中で、子ねこの目が二つ、ビー玉のように光っている。そうまはタごはんによばれるまで、にこにこしながらそれをながめていた。

- 1 子ねこが出てこないで、早くだっこしたくてそわそわしている。
- 2 子ねこが出てこなくても、暗い所で光る目を見て楽しんでいる。
- 3 子ねこが出てこなくても、ごはんをよび出そうと考えている。
- 4 子ねこが出てこないで、きらわれたと思ってしょんぼりしている。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

帰り道に『コーチの…言葉を思い出し』、『次は勝つ』と決めました。

2 答え：3

小さいほうの切り口に『チョコがたっぷり見えて』いて、それを見て『にんまりし』てから大きいほうをわたしました。夕ごはんのことや、弟のたのみは書かれていません。

3 答え：2

『目が二つ、ビー玉のように光っている』のを、『にこにこしながらながめていた』。そわそわ・しょんぼり・よび出す工夫は書かれていません。

読み取るコツ

気持ちは、人物の行動や様子（顔・声・体のようす）に表れます。理由は「～から」「～ので」に注目します。